

検査説明指針



1. 爽やかな笑顔と挨拶

検査説明は“義務”ではなく“ケア”であり、患者さんとの信頼関係は第一印象から始まります。

爽やかな笑顔と挨拶をもって患者さんと接することで信頼関係を構築し、話しやすく相談しやすい環境を作りましょう。



2. 簡潔で明瞭な言葉での説明

検査説明では、理解と納得をいただけるよう意識することが大切です。

専門用語を避け、簡潔で分かりやすい表現を用いることで、患者さんの理解を助け、安心感にも繋がります。相手の理解度に応じて伝え方を工夫し、双方向のコミュニケーションを通じて信頼関係を深めましょう。



3. 不安や疑問を安心に

患者さんやそのご家族は、検査に対して不安や疑問を抱いていることが少なくありません。

相手の立場に立ち、気持ちに寄り添った行動や声かけをすることで、不安や疑問を安心へとつなげましょう。



4. チーム医療への貢献

検査には多くのメディカルスタッフが関わります。

我々、診療放射線技師はメディカルスタッフの一員です。

患者中心のチーム医療へ最善を尽くした連携と協働を実践しましょう。



5. 診療放射線技師としての責任

診療放射線技師はひとつひとつの検査を責務とし、検査説明から施行、退室までを丁寧に行いましょう。

自らの専門性と倫理観を自覚し、患者に寄り添った安全で確かな検査を提供しましょう。

～検査説明委員会より～

本指針は、検査説明のあり方を共有するためのベースであり、すべての診療放射線技師に共通する行動の軸となるものです。検査説明とは、単に言葉で説明する行為にとどまらず、表情や声かけ、身振り・態度など、検査中のすべてのコミュニケーションを含みます。

「患者さんに安心して検査を受けていただく」、それが私たちの共通の目的です。